

# 平成26年度(第69回)文化庁芸術祭賞 テレビ・ドラマ部門 優秀賞 受賞 「マザーズ」

中京テレビが制作(2014年10月18日放送)したドラマ「マザーズ」が平成26年度(第69回)文化庁芸術祭のテレビ・ドラマ部門において優秀賞を受賞いたしました。

文化庁芸術祭は、広く一般に優れた芸術の鑑賞の機会を提供するとともに、芸術の創造とその発展を図り、芸術文化の振興に資することを目的として昭和21年以来毎年秋に開催される芸術の祭典です。芸術祭にふさわしいと認められた作品が参加し、表彰されます。

## 受賞作品:

中京テレビ開局45周年記念ドラマ「マザーズ」



□キャスト 中村蒼 南沢奈央 眞島秀和 石橋けい 杉ありさ  
岡野真也 西村元貴 八木優希 ハレルヤまつこ  
島野結雨 鶴田真由 日野陽仁 宮崎美子 室井滋 ほか

□制作 監 督 谷口正晃  
脚 本 吉田紀子  
音 楽 林 祐介  
企画・プロデューサー 栗田美和

□概要 『僕には3人の母がいる。僕を産んでくれた母、育ててくれた母、そして、僕とその2人を結び付けてくれた母——。』  
ある日突然、養子であることを知った少年が、自分の出生の真実を知るなかで、産みの母や育ての母の本当の思いを知り、成長してゆく物語。



両親の愛情に包まれ、お人好しでフツフツな19歳の浪人生、山瀬健太はある日突然、自分が養子であることを知ってしまう。健太は出生の真実や産みの母を知りたいと、特別養子縁組の仲介をおこなったNPO「スマイルベビー」を訪れる。

そこは、様々な深刻な事情を抱えた妊婦たちが身を寄せる駆け込み寺的な場所だった。どうしても赤ちゃんを育てられない妊婦たちは、出産後すぐに「スマイルベビー」代表、奥田貴子の仲介で特別養子縁組を行い、養父母に実子として託す。

特別養子縁組は、子供のための制度。

「ひとりでも多くの赤ちゃんの命を救いたい！幸せな人生を送らせてあげたい！」と日々奔走する貴子は、明るく豪快、全てを包み込む包容力の持ち主。

そして自らも悩みながら養女を育てるシングルマザー。

健太の出自を全て知る彼女に促されるまま、しばらく「スマイルベビー」で過ごすことになった健太は貴子や妊婦たちとふれ合うなかで、産みの母、育ての母への新たな思いが芽生える。

健太の願いは産みの母との再会。

19年を超えた母子の再会は、果たして実現するのか…？

□製作著作 中京テレビ放送



## □参 考

これまでの受賞歴（ドキュメンタリーの部）

平成18年度（第61回）

『消える産声～産科病棟で何が起きているのか～』

平成元年度（第44回）

『チエと空襲 ～平成元年の「銃後」～』

昭和56年度（第36回）

『さまよえる難民～新生ベトナムの事情～』